

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜城北高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和4年5月31日(火) 13:30~15:30
- 3 開催場所 岐阜城北高等学校 会議室
- 4 参加者

会長	神谷 政人	岩野田まちづくり協議会事務局長
副会長	河野 隆	はなぞの北幼稚園園長
委員	林 祐二	三田洞地区自治会長
	前田 吉彦	岐阜北ロータリークラブ
	白山 和江	本校PTA会長
学校側	下平 義広	校長
	野口 雅子	教頭
	武藤 純二	教頭
	後藤 清	事務長
	森 公彦	教務部長
	後藤 慎二	生徒指導部長
	車戸 祐介	進路指導部長
	井口 貢志	総合学科長
	杉山 福美	生活デザイン・生活文化科長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 令和4年度 教育指導の重点及び学校経営計画について

意見1: 例年インターンシップを引き受けているが、今年度はこれまでと違う学科の生徒が来てくれることを大変うれしく思う。様々な分野でインターンシップを行うことは、生徒たちの可能性を広げることになり、大変素晴らしいことである。

(2) 令和4年度 具体的取組等について

①教務(教科指導及び広報活動)

意見1: 今年度から実施されるオンライン学校説明会は、新しい試みですばらしい。当日は中学生や保護者からの質問等はどのように受け付けるのか。

⇒ チャット機能を使用し質問を受け付け、できる限りリアルタイムに回答をしようと考えている。

意見2: どのように生徒たちの学力を伸ばしていくか、また、どのように学校の魅力を発信していくかなど、学校側の創意工夫を感じることができる。

②生徒指導

意見1: 昨年度、生徒会と協議を行いながら制服を変更したと説明を受けたが、その際に制服の自由化という案はなかったのか。

⇒ そのような案はなかった。今年度は運動系部活動の生徒について、部活動終了後は部の統一ジャージでの下校を認めるようにもした。今後も制服のあり方については、生徒会と協議を続けていく必要があると考えている。

③進路指導

意見1：企業見学の実施形態と目的は何か。

⇒ 隣接する市と企業数社に協力を仰ぎ、総合学科2年生全員が参加する予定である。実際に見学することで、勤労観の育成を図ることができると同時に生徒自身の職業選択の幅も広がると考えている。

④総合学科及び生活デザイン・生活文化科

意見1：生徒たちの将来の進路先を見据えつつ専門性を生かした数多くの取組を通して、職業のミスマッチが原因の早期離職を防ぐことにつながってほしい。

意見2：生徒の個性を生かした各学科の取組が、生徒自身の得意分野を発見し伸ばす機会であってほしい。

意見3：進学した生徒たちの就職状況はどのようなものか。

⇒ 短大や専門学校へ進学した生徒は、進学先での学びを生かした業界で活躍している生徒が多い。一方、四年制大学へ進学した生徒は、就職先も多岐にわたる。今後、卒業生への調査も検討し、学科の取組に生かしていきたい。

(3) 本校への意見、提言等について

意見1：学校行事などが制限される状況が続いていくと思うが、今後も生徒の気持ちに寄り添うことを大切にしてほしい。

意見2：委員として協力できることはたくさんある。要望等があれば連絡してほしい。お互いの連携を強化し、より魅力ある学校運営ができればよい。

意見3：将来、地域の担い手となる高校生が、地域の現状や課題を知り解決案を提案していくことが、地域貢献さらには地域の活性化につながるはずである。今まで以上に地域と連携した取組に期待している。

意見4：専門性を生かした数多くの取組を通して、生徒の自主性を育てることを期待している。

6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会において、全委員より今年度の本校の学校運営基本方針について承認が得られた。
- ・第2回では、「生徒及び保護者を対象とするアンケート」の結果や実際に授業を参観したうえで意見、助言等を得る予定である。